

登録コード	L2963500	開講年度	2026				
担当教員	LI DANDAN			副担当			
授業科目	中国語コミュニケーション上級						
英文授業名	Chinese Oral Communication(Advanced)						
授業タイトル							
単位数	1	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	水曜・2時限
講義室	人文202演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力			生活に根差した日中文化の違いについて学び、異文化理解を深めるできるようになります。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			中国語のリスニング力、会話力、作文力を高めるできるようになります。			
	【2023年度以降加付対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			読む、話すなどの能力の向上によって高い情報収集及び発信ができるようになります。			
	【2023年度以降加付対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			語学力の強化によるコミュニケーション能力の向上や異文化理解の増進によって、新しい視点や発想が生まれやすくなります。			
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	中国人作家のエッセイを読み進めます。 本文の中国語を日本語に翻訳しながらポイントになる語彙、文型を学びます。 学んだ語彙、文型を用いて作文や会話を実践します。 本文のテーマについてグループで話し合います。 * 中検過去問にも挑戦してみます。						
授業計画	第1回～第2回 一羽のアヒル 第3回～第5回 都で往年を思う 第6回～第8回 救急車 第9回～第12回 あの暑い夏の日々と青春 第13回～第15回 自転車の物語						
成績評価の方法	授業中の発表で以下を確認します（授業中に指名します）。（5割） ・発音 ・リスニング能力 ・会話・作文能力 暗唱小テスト（1割×2回） 期末テスト（2割） 主体性（1割）						
成績評価の基準	授業中の発表について [水準レベル]指導を受けながら正しい発音と聞き取りができて、大まかな意味が伝わる作文ができる。 [やや上]学んだ内容を指導なしで正しい発音と聞き取りができて、より精度の高い文を作ることができる。 [かなり上]上記に加え、学んだものを応用し、ある程度中国語でコミュニケーションができる。 [卓越]指導なしで正しい発音と文法を使って、学んだ内容を応用しながらスムーズに中国語でコミュニケーションができる。 小テストについて [水準レベル] ヒントを得ながら、指定した文章を暗唱できる。 [やや上] ヒントなしで、指定した文章を暗記できる。 [かなり上] 上記に加え、きれいな発音で暗記できる。 [卓越] 上記に加え、自然な口調で流暢に暗唱できる。 期末テストについて [水準レベル]問題の6割正解する。 [やや上] 問題の7割正解する。 [かなり上]問題の8割正解する。 [卓越]問題の9割以上正解する。 主体性について						

成績評価の基準	欠席、授業中の居眠りなど、不適切な行動がある場合は、一回につき2点減点する。
事前事後学習の内容	・事前学習が必要です。語彙の発音と意味を調べ、文全体の大まかな意味を把握してください。 ・授業後に学んだ内容を整理し、音読・暗唱を中心に復習してください。
履修上の注意	・受講者の専攻コースは問いませんが、中級レベルの中国語の既習者が望ましいです。 ・受講生の理解度によって内容の一部の変更、授業ペースが前後することがあります。
質問、相談への対応	授業前後に対応します。 その時間以外の場合はlidandan@shinshu-u.ac.jpへメールしてください。
教科書	プリントを配布します。（史傑鵬『旧時天氣旧時衣』によるエッセイを使用）
参考書	授業中に随時紹介します。